

タイトル「パンツの匂い責め編」

1 3番囁き 「(息吹きかけ) ふ〜〜〜……」

2 「ロリコンは犯罪です、わかってますかおじさん」

3 「ダメだって理解してるのにしおりでおちんぽシコシコさせるんだ、
いけないんだ〜〜〜」

4 「(息吹きかけ) ふ〜〜〜……」

5 「ふふ、じゃ〜あ〜、

変態のロリコンさんに染みつきのパンツの匂い嗅がせてあげる」

6 9番 「しおりは履いてる物1枚脱いじゃうから!よいしょ、んっ、よいしょ」

7 「えへへかわい?しおりのくまさんパンツ、

おじさんの為に敢えてこのパンツ履いてきたんだ」

8 「パンツにおしっこの染みついてるんだよ、おじさん匂い嗅ぎたいよね?」

9 「そ〜れ〜と〜も〜〜〜……」

10 1番 「無理やり嗅がせて欲しいかな〜、え〜〜〜い」

11 「あはは、パンツに顔押し付けられて気持ちい声聴こえたよ〜、
いくう〜って」

12 「ふふふ、顔顔、トローンってなってるよ、そんなにいい匂いした〜?」

13 「だよね〜アへ顔晒しちゃうよね〜〜〜」

1
4

「だってこのパンツ……何日間も履きっぱのパンツなんだよ、だから毎日のおしっここの拭き残りが染みついててとっっても臭いの」

1
5

「おじさんはしおりみたいな年下の女の子のおしっここの匂いだ……いい好きでしょ？ふふ、おしっこ大好きおじさん、へんたい」

1
6

「（息吹きかけ）ふ……ふ……ふ……ふ……ふ……」

1
7

「ふふふ、おちんぽ少し元気ないぞ、精子の量回復に時間かかりそうだね」

1
8

「そうだよ、さっきまではもっとかっこいいおちんぽだった、

熱くて固くてびんびんに勃起してたし」

1
9

「じゃあもう一枚履いてる物脱いだらHP回復するかな」

2
0

「（パンツを脱ぐ）よいしょっ、ん……ん……ん……と、よいしょ……」

2
1

「あっどうせだし上半身も脱いでおっぱいも見せてあげちゃおうと、んいしょっと」

2
2

「あゝもうはあはあしちゃってる、おっぱいじろじろ見てやらしい……」

2
3

「下半身丸出しでいけないマンコが見えちゃってるでしょ？」

2
4

「マンコ拡げて中のマン肉見せたげる、ほ……ほ……」

2
5

「肉の壁がペニスを刺激して締め付けるんだよ」

2
6

「オナホールで発射した事あると思うけどあんなの所詮は疑似マンコだよ。しおりにぎちぎちに締め付けられる快感一度体験したらオナホールになんか戻れなくなっちゃうんだから」

2
7

「ふふ、おじさんのおちんちんばっきばき、

調子出てきたじゃんおじさん」

「そんなおじさんにはこっちの穴も見学させてあげよっかな」

「おじさんに背中向けてくっくかがんでくっくほいお尻の穴」

1番

「あはは、来たあああじゃないでしょおじさん、目血走ってるぞ」

「締まったり開いたり呼吸してるみたいでしょ」

「ほらお尻もちもち、マシユマロみたいに柔らかいんだ」

1番

「またおじさんの方に体を向けて……しおりおっぱい大きいでしょ？」

「しおりねまだエッチな事に疎いの、だからおじさん教えてくっく」

3番囁き

「妊娠するとおっぱいからミルクが出るようになるってほんと？おじさん」

「しおりおっぱいからミルク早く出るようになりたいなくっく、ふふ

ふ」

38

「それでね妊娠するにはエッチな事をしないとイケないってママから聞いた事あるんだけどくエッチな事ってなに？おじさん」

39

「おじさんとしおりでもできる事なんだってね、

しおり興味津々んだけど知るのはまだ早いわよってママに言われちゃったの」

40

「妊娠くっくしおりとしたいよねくおじさん、

おじさんもしおりがおっぱいからミルク出すとこ見たいでしょ？
ふふふふふ

4 1 2番

「あれれ〜おじさんおちんぽシコシコしまくってる〜、
しおり何か股間に刺激を与えるような事言ったかな〜あはは」
「臭い匂いだけに興味ある人かと思ったけどちゃんと正常な感覚持つて
るんだおっぱいに反応するなんて」

4 3 「それともあれかな、

体中汗かいてるしおりの全裸の姿に興奮してるのかな？」

4 4 「ふふ、別に特定の場所だから臭い匂いするんじゃないよ。

ほら抱き付いてごらん、裸のしおりに」

4 5 「本当に匂いフェチを手玉に取る女の子っていうのはすごい匂いが体から

出ているの、それを身を持って体験させてあげるよ」

4 6 「ん？自分から来れない？緊張して、

じゃっしおりから裸のおじさんに抱き付いてあげる」

4 7 1番 「これでど〜〜〜おだ、むぎゅ〜〜〜！」

4 8 「んふふ、女の子に抱き付かれて気持ち？

しかも自分よりずっと年下の女の子に。

おっぱいがむにゅって当たっておちんぽ反り返ってるよ」

4 9 「にひひ〜じゃあもうちよっと密着しておっぱい押し当ててあげよう〜と、

むぎゅ〜」

「ほれほれ乳首攻撃〜、あはは、
しおり乳首立ってる事ばれちゃった〜恥ずかしい〜」。

「しおりの唇見て何？キスしたいの？しおりと！
いいよチューくらいしてあげる」

「ほらおじさんチューしてあげる、
お口ん〜って前に出して、ん〜って！」

「うん、いいよ、しおりの口見て、ん〜♡」

「ふふ、たこみたいな口されるとチューしたくなっちゃうでしょ、
ほら見て、ん〜、ん〜、ん〜ん♡」

「んふふ、はあはあすごい、
しおりのたこみたいに伸ばしたチュー顔見たら吸い付きたくなっちゃう
よね♡」

「いいよ、ほら、チューしてあげる、
ん〜、ん〜、ん〜♡」

「ふふ、焦らさないで？」

「ふふ、ん〜ってたこみたいに前に出したしおりのお口と
今すぐにチューしたいんだ、可愛い♡」

「ん〜、ん〜、ん〜♡」

「ふふ、メロメロになってるね、可愛い♡」

6
1

「じゃあ本気チューいくよ、んゝゝゝ、チュ、チュゝゝゝ、んっ、ふふ、
んゝゝゝゝゝゝ、チュゝゝゝゝ、んちゅゝゝゝ、チュ、チュゝゝゝゝゝゝ
んふ、はいおゝゝゝわり♡」

6
2

「しおりのチュー気持ちよかった？」

6
3

「ふふ、ありがと、臭いしおりのお口でチューしたけど臭くなかった？」

6
4

「あはは、超気持ちよかったか、

6
5

しおりも気持ちよかったよ、おじさんと本気チューできて」

「うん、しおりおじさんの事だゝい好きだからドキドキして顔赤くなっ
ちやったよ。きやつ、今でも恥ずかしいよ本気チュー」

6
6

「ふふ、抱き付いてたらしおり暑くなってきて汗いっぱいかいちゃった」

6
7

「ねゝおじさんゝゝゝ……」

6
8

3
番囁き

「はあはあしてない？しおりの体の匂いで、

フェロモンでだらしない顔になってるよ、アクメ決めちゃだゝめ」

6
9

「お尻の穴キュンキュンさせてあげる、

魔法の息をお耳にかけてあげるだけ」

7
0

「すぐに気持ちよくなっちゃう」

7
1

「息吹きかけ）ふゝゝゝ……はゝゝゝ……」

7
2

「くすっ、おじさんアヘアへしてるよ、腰もがくがくしてますよ」

7
3

「しおりのおまんこに固いの当たってるよ、素股プレイ、にひひ」

7
4

「今ならすぐ出せるでしょ？しおりの裸と密着してる今なら」

7 5 「ほら出・し・て、出・し・て、マゾ精子しおりに見・せ・て、見・せ・て、
ふふ……出せ！」

7 6 「いやん！？やん！」

7 7 「やゝだもうすゝすぎおじさんゝゝゝ、おまんこの感触でいつもの倍
出したなゝ」

7 8 「ねゝおじさん……」

7 9 「本当はさ素股でドッピュンじゃなくおまんこに精液注ぎたかったん
でしょ？

おまんこだったからおっぱいからミルク出るようになってたかなゝ？
ふふふふふ。

8 0 1 番 「はいよくできましたのチューしてあげる、チュゝゝゝ、えへへ」

8 1 「おっと！？ふふ、足腰不安定になってるね、でもまだやる事いっぱい
あるんだよ」

8 2 「べゝゝゝゝ、おじさんの舌を使ってしおりの体舐めるの、
上半身から下半身の順で舐めていくよ」

8 3 8 番 「ほら腋舐めて………おじさんの好きなように舐めていいよ、
れろれろゝゝゝって」

8 4 「……れろれろ、れろれろ、あはは、おじさん変態だゝゝゝんふふ」

8 5 「トロゝンってした顔しおりに見せて！」

8 6 「……うわゝゝトロケきってるよ、おじさん腋好きなんだねゝ」

8 7 「女の子に腋見せられたらすぐマゾちんぽシコシコさせるんでしょう？

えゝやだゝゝゝ」

8 8 「ほらおちんぽいじめてるゝ、とにかくオナニーするよねゝ。」

8 9 「おじさんさ一日に何回股間さすってるの？」

9 0 「えっ10回以上で精液は3回は出すの？」

9 1 「あはは、そんな事真面目に答えるなよ、あはははは」

9 2 「じゃあこれからは20回ね、しおりからの命令ゝ」

9 3 7 番 囁き 「ふふ、僕は毎日オナニー20回します、ほら言え。」

9 4 「ふふふ、なんではあはあしてるの？」

おちんぽくちゅくちゅ鳴らすなよ。

ごめんなさいとかいららないから、うん、

謝ったりするんじゃない言葉だよ言葉」

9 5 「そっからもっとマゾっぽい事宣言したいのかゝ、

マゾ豚君にはこれが気持ちいいかな？」

9 6 「僕はしおり様のマゾ奴隷です、しおり様の許可なしに絶対精液出し
ません、ほら言え」

9 7 「ふふふ、年下の女の子におちんぽ管理されてるゝ、おじさん恥ずか
しいゝゝゝあははははは」

9 8 「(息拭きかけ) ふゝゝゝ……んふふ、よくできました」

9 9 8 番 「じゃあおっぱいはどうなのかな？」

1 0 0 「おっぱいだよおっぱい、おじさんのだゝゝゝいい好きなのはいい」

1 0 1 「乳首、舌先でちろちろ舐めてごらん……………」

1 0 2 「舌で円を描くように右回り、左回りと舐めてちゅっておっぱいに吸い付いて」

1 0 3 「……………そう、ちろちろ舐める、舐めたら円を描く、
右…左…左…右…おっぱいチュ……………」。

1 0 4 「あははは、赤ちゃんみたいおじさん、
しおりのおっぱい甘いミルクの味ちまちゅか…………？あはははは、
ロリおっぱいは格別に美味ちいでちゅね…………」

1 0 5 「んふふ、おじさん吸い方きもいんだより、たく…………、あはは。」

1 0 6 「次おへそ言ってみよう…………しおりのおへその穴を舐めて…………」

1 0 7 「あっ汗がおへそに入っちゃった…………舌で舐めとって…………」

1 0 8 「……………ひゃう！？…………おへそくすぐりたい」

1 0 9 「おじさん女の子のおへそ舐めたの初めてでしょ？」

1 1 0 「しおりのペットなら…………ういう事は日常茶飯事だから、どうすればご主人様のしおりに喜んで貰えるか考えながら舐めて」

1 1 1 「…………おちんぽふりふりさせないの、
まったくしょうがないペットだなあ、ふふ」

1 1 2 「よし次…………おじさんのだ…………い好きなふにおまんこ」
「マンコの中拡げてあげる…………」

1 1 4 「だよね、はい、マンコの中ひだひだ…………んふふ」
「えっ？すごいぎきちちに締め付けられそう？」

1 1 5 「うん、いいよ舐めて！ていうか……………」

1 1 6 7 番囁き 「舐めろ、ふふふ」

1 1 7 8 番 「うわゝおじさん興奮してるのがよく伝わるよゝゝゝ、おじさんの息

がまんこにかかるもん」

1 1 8 「美味し?……はいだつてゝゝゝ、

おじさんしおりのおまんこぺろぺろ舐めまくり、

ううゝくすぐったくて気持ちいいゝゝゝ」

1 1 9 「ぺろぺろ、ぺろぺろぺろ、おしっこの匂いするかも、

あはは、でもおじさんならそんなの気にしないもんね、ねゝおじさん」

1 2 0 「さっでは次行ってみよゝゝゝ……ほら臭い足ゝゝゝ♪」

1 2 1 「あはは、むしゃぶりつくよねゝ足にはやっぱ、

おじさんのだゝゝゝい好きな汗だくの足だもん」

1 2 2 「しおりが舐めるの終わりっていうまで一生舐めそうだね、

それ程好きでしょ?」

1 2 3 「女の子の足現実に舐めたいって思ってたんでしょ、

願い叶って良かったじゃんおじさん」

1 2 4 「臭い?しおりの足、

くっさゝゝゝい足の裏は美味しいですかゝゝゝ?あはははは!」

1 2 5 「うわゝゝゝ、親指から小指まで指の間にまで舌入れてくるよゝ、

おじさんへんたゝゝゝい、ふふふ」

1 2 6 「ほら酸っぱゝゝゝい親指もつと舐めな……むしゃぶりつきな……ふふ、
むしゃぶりついて変態顔しおりに見せな……」

1 2 7 「ふふ、はゝゝゝい、よくできたねゝよしよしゝゝゝあはは」

1 2 8

「よし変態おじさん、次にいくよ……えへ」

1 2 9

「えっ、他に舐めるとこない？」

1 3 0

「ふふ、もうおじさんたら冗談きついな……」

しおりの可愛さにみとれてるから肝心なポイントを見逃すんだよ」

1 3 1

「そうです、脳裏につびびって閃いたその穴です、

しおりのお尻の穴を忘れて貰っては困るなあ……」

1 3 2

「ん？できないの？」

しおりのペットなら忠誠心を見せて欲しいな、おじさんマゾなんだよ」

1 3 3

「きつい事命令されればされる程燃えるのが豚さんでしょ、

マゾ豚さん、おじさんの事だよ」

1 3 4

「いいんですかって何？いいに決まってるじゃん、

おじさんはしおりにとって特別な人なんだから、

DMのおじさん、早く舐めてよ」

1 3 5

「ほ……ら、ぐに……、あはは、

しおりのアナル早くおじさんに舐めて欲しいみたいだよ、

ひくひくしちゃってるもん」

1 3 6

「ほら舐・め・て♡」

1 3 7

「んふふふ、は……い、やっとか……、

随分迷ってたね、

1 3 8

汚いところって思ってたみたいけどしおりの穴は綺麗だよ」

「べろ……っってお尻の穴の奥まで舌入れてみ、

すっごい美味しい事に気付くから、前に進もう諸君」

1
3
9

「あはは、なんだよ、おちんぽめっちゃ勃起してんじゃん、おじさんほんと素直じゃないんだから」

1
4
0

「ひゃん！？……気持ちいい、おじさんもつと奥……奥がいいの……」

1
4
1

「はう……しおりお尻の穴舐められて愛液出てきちゃったよ……、感じちゃうよ……」

1
4
2

「おじさん、しおりの穴もつと舐めて、舐めて感じさせて」

1
4
3

「…はあ、はあ、しおり感じると愛液垂らしちゃうエッチな女の子なの、おじさんごめんね、しおりエッチで」

1
4
4

「はっ！？……ら、Mの癖に調子に乗らないの、これじゃあおじさんがしおりのご主人様みたいじゃん」

1
4
5

「立場逆転しちゃだ……め、あくまでもしおりが主人なんだからね」

1
4
6

2
番

「はいはい、舐めるのおあずけ、ちよつと休憩に入らせて貰うねしおり」

1
4
7

「あはは、おじさんなんか勘違いしてない？しおりが休憩している間洗濯するんだよこのしおりのおしっこパンツ」

1
4
8

「口の中でよく嚙んで洗濯するんだよ、

洗濯してる途中でドピュってしちゃっていいよ」

1 4 9 「女の子のおしっこだゝゝゝい好きなおじさんにご褒美なんだよ、
しおり優しいでしょゝ？えへへ」

1 5 0 「はい、お口あ・け・て♡」

1 5 1 「…あはは、おしっこパンツお口で洗濯しなきゃいけないっていうの
にがばっと口開けてほんとロリコンだなゝゝゝ」

1 5 2 「ほい、ぽいっと」

1 5 3 1 0 番 「あっそれと洗濯時間だけどおしっこピュゝゝゝって2回射精する
まで洗濯して」

1 5 4 「射精する気がなくてもしおりのおしっここの匂いで勝手にお漏らし
しちゃうんじゃないかな、おじさんロリコンだし」

1 5 5 「それじゃ洗濯機さん稼動してゝゝゝあはは、あはははは」

